

**目次**

セクション 1 : MCT および MCLC 認定の特典 2

セクション 2 : MCT の認定を受ける方法 6

セクション 3 : MCT の指導分野 8

セクション 4 : 2010 MCT プログラム要件 10

セクション 5 : MCLC の認定を受ける方法 15

セクション 6 : MCT および MCLC 認定資格の状態 17

セクション 7 : MODL 実施許可の申請 18

セクション 8 : MCT 認定資格の回復 18

付属文書 1 : 定義 19

マイクロソフト認定
トレーナーおよび

マイクロソフト認定
ラーニング
コンサルタント

プログラム ガイド 2010

## セクション 1 : マイクロソフト認定トレーナー (MCT) およびマイクロソフト認定ラーニング コンサルタント (MCLC) 認定の特典

マイクロソフトでは、Microsoft® のテクノロジを用いた技術的知識
と指導力を保有および維持し、今日の学習環境で情報技術 (**IT**) プロフェッショナルおよびインフォメーション ワーカー (**IW**) プロフェッショナル向けにそのスキルを活用するプロフェッショナル トレーナーおよびラーニング コンサルタントの資格を認定しています。

マイクロソフト認定トレーナーの資格は、受講者、トレーニング プロ
バイダー、および組織が、マイクロソフトのテクノロジや製品に関するトレーニングを提供できる熟練したプロフェッショナルを判別する際の目安になります。MCT の資格認定を受けたトレーナーは、その業務に
おける競争上の優位性を確保し、今日の技術トレーニングおよび IW ト
レーニング業界に不可欠な人材となります。

マイクロソフト認定ラーニング コンサルタントの資格は、組織やト
レーニング プロバイダーが、マイクロソフトのテクノロジや製品に基
づくコンサルティング的なラーニング ソリューションを設計、開発、
および実施できる熟練したプロフェッショナルを判別する際の目安になります。

MCLC 認定資格を取得するためには、本書に詳述される要件を満たすと
共に、事前に MCT 認定資格を取得する必要があります。したがって、
特に MCLC に適用されると記述されていない限り、MCT へのすべての
言及が MCLC にも適用されます。

業界での認知度に加えて、マイクロソフトでは、MCT と MCLC に有用
なリソースを提供し、世界で優れた技術指導のプロフェッショナルとなるための支援を行っています。認定を受けたプロフェッショナルは、次に挙げる項目を含む、多くのプログラム特典や特別キャンペーンを受けることができます。

**オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトまたはマイク
ロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを使用したマイク
ロソフト コース、またはマイクロソフト IW コースを、ラーニ
ング ソリューションのマイクロソフト認定パートナー先、
およびマイクロソフト IT アカデミー内で実施する権限** : MCT はトレーニング プロセスで重要な役割を果たすため、マイクロ
ソフトでは、マイクロソフト認定パートナー先での、またはマイクロソフト認定パートナーを通じた、マイクロソフト コースお
よびマイクロソフト IW コースの実施を MCT だけに認めてい
ます。

**すべてのオフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトおよ
びマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト用のト
レーナー キットのインターネット利用** (マイクロソフト オフィ
シャル コース、マイクロソフト オフィシャル ワークショップ、
マイクロソフト オフィシャル セミナー、およびマイクロソフト オフィシャル クリニックを含み、これらに限定されません): オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトのポートフォリオの詳細については、
<http://www.microsoft.com/japan/learning/training/default.mspx> を参照してください。

トレーナー キットは、MCT ダウンロード センターからダウン
ロードできます。新たなコンテンツも随時追加されます。

**テキストの購入による、マイクロソフト オフィシャル アカデミック コースの全インストラクター リソースへのインターネット アクセス** : リソースは、マイクロソフトの学術研究関連の出版元である John Wiley & Sons (<http://www.wiley.com/college/microsoft>) がホストしている MOAC ホームページから利用できます。

**マイクロソフト ラーニング e ラーニング プロダクト ライブラリへのアクセス**

**オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトおよびマイク
ロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト用のトレーナー キット フル パッケージの取得権、ならびに一定のオンライン バーチャル ラボへのアクセス** : MCT は、トレーナー キットを最
寄りのサービス センターから割引価格で購入でき、オンライン バーチャル ラボおよび e ラーニング コースにはマイクロソフト e ラーニング ([https://www.microsoftelearning.com](https://www.microsoftelearning.com/)) からアクセスで
きます。

 現在のところ、マイクロソフト IW ラーニング プロダクト用のト
レーナー キットは提供されていませんが、マイクロソフト IW ラーニング プロダクトは、マイクロソフト独自の判断により、
主要なマイクロソフト販売チャネルまたはトレーナー ダウ
ンロード センターを通じて提供される予定です。

**マイクロソフト認定資格受験料の割引** : 認定受験料が 125 米ドル相
当額以上の国の MCT は、MCP およびマイクロソフト ダイナミ
クス認定資格の受験料について、45% の割引を受けられます。
受験料が 125 米ドル相当額未満の国の MCT は、20% の割
引を受けられます。さらに、MCT は試験のリリース後 90 日
以内に受験すると追加割引を受けることができ、合計で最大 65% の割引となります。具体的な規則および制限については、
MCT の特典に関するページ (<http://www.microsoft.com/japan/learning/mcp/mct/benefits.mspx>) を参照してください。

**ベータ試験の受験資格** : MCT には、ベータ MCP 試験の早期受験に
関する通知が届きます。試験実施要綱は MCT ニュースグループ
に掲示されます。

**Microsoft Press が発行する書籍の割引** : Microsoft Press 発行の電子形
式の書籍を E-Reference Library からオンラインで入手できます。
1 年購読する場合、MCT は 60% の割引を受けることができ
ます。この場合、MCT は 99.99 米ドルで、毎月追加される 600 以上の書籍にアクセスできます。MCT は、最寄りのサービス センターで Microsoft Press 発行の書籍を最高 50% の割引率
で購入することができます (注 : ドイツでは、国内法により MCT に Microsoft Press の書籍の割引は適用されません)。

**Microsoft TechNet Plus Direct の無料購読** : MCT は、TechNet Plus Direct を 1 年間無料でオンライン購読できます。TechNet Plus のメディアを注文する場合、MCT は 20% の割引を受けること
ができます。TechNet Plus は IT プロフェッショナル向け技術
リソース コレクションの決定版であり、現在はフル バージョン
のマイクロソフト ソフトウェアも評価目的限定で提供してい
ます。IT プロフェッショナルが技術的な問題の解決、マイクロ
ソフトのテクノロジの評価や検討、および技術スキルの強化を図るうえで拠り所となる総合的なリソース セットとなっています (国によっては利用できない場合があります)。

**オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトおよびマイク
ロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト用バーチャル ハードディスク イメージ** : MCT は、Virtual PC 対応のラーニング プロダクトの指導に必要な基本イメージが含まれた DVD 一式を
発注することができます [注 : MCT は付属するライセンス条
項に従ってバーチャル ハードディスク イメージを使用する必要
があります]。

**コースウェアのサポート** : MCT には、オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトおよびマイクロソフト ダイナミクス ラー
ニング プロダクトの各コンポーネントに関する質問や問題の
報告用として、特別な電子メール アドレス (support@mscourseware.com) が与えられます。このサポート サービスは、演習に関する問題、コンテンツの明確化、コースウェア教材に関するその他の技術的な問題の解決に役立ちます。このサービスは世界中で利用できますが、対応している言語は英語のみです。

**MCT メンバー専用サイトの利用、および月刊ニュースレター MCT Flash の購読** : MCT メンバー専用サイトと MCT Flash では、MCT および MCLC プログラムの情報だけでなく、マイクロソフ
ト認定資格とコースウェアに関する情報、トレーナー向けイベント、および特別プロモーションについて、最新の内容を提供し
ます。

**MCT コミュニティ向けの特別キャンペーン** : MCT には多くの製品
やサービスが無料または割引価格で提供されます。この特別キャンペーンは MCT 2010 Special Offers MCT メンバー専用サイト
で提供されています。

**インターネット上の MCT および MCLC メンバー ニュースグ
ループ** : このニュースグループにより、他の MCT やマイクロ
ソフトとの間でトレーニングに関するヒントや技術を共有したり情報を交換したりすることができます。

**マイクロソフト イベントへの限定の招待および割引** : Tech Ed およびその他の主要マイクロソフト イベントに関連して、
定期的に限定招待が行われます。

**マイクロソフト認定トレーナーおよびマイクロソフト認定ラーニング コンサルタントのロゴ** : ラーニング ソリューションのマイ
クロソフト認定パートナー (以下「**ラーニング ソリューション パートナー**」)、およびその他の正規カスタマーや受講者
に対し、MCT ロゴ、MCLC ロゴ、およびその他のマテ
リアルにより、認定資格を示すことができます。

MCT の各種特典については、[MCT の特典に関する Web サイト](http://www.microsoft.com/japan/learning/mcp/mct/benefits.mspx) (<http://www.microsoft.com/japan/learning/mcp/mct/benefits.mspx>) を参照してください。

## セクション 2 : MCT の認定を受ける方法

MCT 資格を取得するためには、次の要件を満たす必要があります。

1. マイクロソフト認定プロフェッショナル (以下「**MCP**」) またはマイ
クロソフト認定ビジネス マネジメント ソリューションズ プロ
フェッショナルの資格の取得
2. 指導におけるプレゼンテーション スキルの証明
3. Metrics that Matter ID の取得
4. MCT となるための申し込みと年間費用の支払い

MCT 認定資格の要件について不明な点がある場合は、最寄りの[マイクロソフト地域サービス センター](http://www.microsoft.com/learning/en/us/help/help-default.aspx) (<http://www.microsoft.com/learning/en/us/help/help-default.aspx>) (英語) にお問い合わせください。

ステップ 1 : マイク
ロソフト認定資格の取得

マイクロソフト認定トレーナーの資格を申請する前に、MCP、または MCT プログラムの[マイクロソフト ダイナミクス](http://www.microsoft.com/learning/en/us/certification/mct.aspx#tab3)認定資格のいずれか
を取得する必要があります。資格の一覧については、[有効なマイクロソフト認定資格の取得に関する Web サイト](http://www.microsoft.com/learning/en/us/certification/mct.aspx#tab3) (<http://www.microsoft.com/learning/en/us/certification/mct.aspx#tab3>) (英語) を参照してください。

これらの資格は、MCT が技術的な基礎知識と職務能力を持っているこ
とを確認するために必要です。マイクロソフトの認定資格を取得することにより、その資格に関連する分野や職務について、マイクロソフトの製品やテクノロジに熟練していることを示すことができます。
実施できるのは、保有している認定資格に対応したマイクロソフト コースおよびマイクロソフト IW コースのみです (「セクション 3 : MCT の指導分野」を参照)。

ステップ 2 : 指導におけるプ
レゼンテーション スキルの証明

以下は、北米地域で MCT の資格認定を受ける場合の要件です。北米以
外の地域で MCT の資格認定を受ける場合は、以下のいずれかの要件を
満たしているか、各地域での代替要件を満たしている必要があります。代替要件については、最寄りの[マイクロソフト地域サービス センター](http://www.microsoft.com/traincert/support/worldsites.asp) (以下「**RSC**」) (<http://www.microsoft.com/learning/en/us/help/help-default.aspx>) (英語) にお問い合わせください。

指導におけるプレゼンテーション スキルを有していることを示すため
に、以下のいずれかの要件を満たしている必要があります (MCT 申込書
にどの要件を満たしているのか明記してください)。

* CompTIA の Certified Technical Trainer (CTT+) 資格の証明書を取
得します。
* マイクロソフトの認可を受けたトレーニング プロバイダー、ま
たは [CompTIA Learning Alliance (CLA) Program](http://www.comptia.org/cla) のメンバーである
トレーニング プロバイダーが実施する指導プレゼンテーション スキル コースまたはトレーナー養成コースを受講および修了し
ます。[認可を受けたトレーニング プロバイダー](http://www.microsoft.com/learning/en/us/certification/mct.aspx#tab3)は <http://www.microsoft.com/learning/en/us/certification/mct.aspx#tab3> (英語) で検索できます。
* 次のいずれかのベンダーの認定インストラクターの資格認定書を提出します。
	+ - Cisco Systems
		- Citrix
		- Novell
		- Oracle
* 正式認定教育機関において雇用されていることの証明を提出します。

ステップ 3 : Metrics that Matter (MTM) ID の
取得または識別

マイクロソフトでは、Metrics that Matter (以下「**MTM**」) というプログラムを利用して、継続的な認定資格要件を適用しています。マイクロソフト認定トレーナーとして登録するためには、
[MTM アカウント](http://www.knowledgeadvisors.com/newmctinmtm/) (以下「**MTM ID**」) (<http://www.metricsthatmatter.com/NewMCTInMTM/EnrollMCT.aspx>) (英語) を取得する必要があります。既に MTM を使用している場合は、
現在ご使用の MTM ID を使用できます。MCT 登録ツールで登録する
ときには、MTM ID の入力が必要です。詳細についてはセクション 4 を参照してください。

ステップ 4 : 申込みと年間費用の支払い

MCT 登録ツールは [MCP メンバー専用サイト](https://mcp.microsoft.com/mcp/enrollment/enrollment.aspx) (<https://mcp.microsoft.com/mcp/enrollment/enrollment.aspx>) (英語) にあり
ます。オンライン申込書に記入し、プログラムの年間費用を支払い、
MCT 登録ツールで指定されているアドレスに適切な書類を送付す
る必要があります (注 : 申込書の処理方法および所要日数は国によっ
て異なることがあります。MCT には処理状況をお知らせします)。

費用は国によって異なります。通常の MCT 登録/年間費用は、マイク
ロソフト コースを実施する MCT の場合は変化しません。一方、マイクロソフト IW コースを実施する MCT の場合、IT プロ、開発者、マイクロソフト ダイナミクスのい
ずれかの指導分野の MCT 資格を取得してマイクロソフト コースを
実施するまでは、減額された MCT-IW 登録/年間費用が適用されます。
これらの指導分野の MCT 資格を取得した後は、当該プログラム年度
については MCT-IW 登録/年間費用と通常の MCT 登録/年間費用の
差額を支払う必要があります。次のプログラム年度については、通常の MCT 登録/年間費用を支払うこととなります。

詳細については、
<http://www.microsoft.com/learning/en/us/certification/mct-fees.aspx> (英語) にあるオンラインの価格表を参照してください。

適切な RSC により所要の書類が処理されるには、少なくとも 2 週間か
かります。申込書が受理されると、電子メールで通知が送付されます。MCT Welcome Kit が届き、MCT メンバー専用サイトへのアクセスが認
められます。

## セクション 3 : MCT の指導分野

MCT プログラムは、幅広い受講者に対する各種マイクロソフト テク
ノロジの指導を対象としています。特定の受講生に適したプログラムを構成するために、MCT は、それぞれの MCT が保有する認定資格に基
づき 1 つまたは複数の指導分野を割り当てられています。
すべての指導分野については、[有効なマイクロソフト認定資格の取得に関する Web サイト](http://wwwstaging/learning/mcp/mct/guide/default.mspx) (<http://www.microsoft.com/learning/en/us/certification/mct.aspx>) にある[指導分野ドキュメント](http://www.microsoft.com/learning/en/us/certification/mct.aspx) (英語) を参照してください。

マイクロソフト コースの実施制限

公開トレーニングを実施する MCT は、それぞれの指導分野に関連す
るマイクロソフト コースまたはマイクロソフト IW コースの
み実施することができます。各指導分野に関連するマイクロソフト コースおよびマイクロソフト IW コースのリストは、[マイクロソフト コース](https://mcp.microsoft.com/mct/program/competencies.mspx)およびマイクロソフト IW コース (<https://mcp.microsoft.com/mct/program/competencies.mspx>) (英語) から入手できます。MCT 証明書には、MCT の指導分野のほか、MCT が実施資格を有するマイクロソフト コースおよびマイクロソフト IW コースが明記されます。

オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクト、マイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト、またはマイクロソフト IW ラーニング プロダクトを使用した公開トレーニング**1** は、ラーニング ソリューション パートナーまたはマイクロソフト IT アカデミー
として、ラーニング ソリューション パートナー先、マイクロソフト IT アカデミー内、またはオンラインでのみ実施できます。MCT は、
ラーニング ソリューション パートナー先もしくはその顧客先
において、またはマイクロソフト認定パートナーを通じてそのパートナーの施設、その顧客先、もしくは別の教室において、オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクト、マイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト、またはマイクロソフト IW ラーニング プロダクトを使用した非公開トレーニング**2** を実施できます。ただし、
それらの場所のハードウェアが、実施するマイクロソフト コース
に対応するトレーナー キットのハードウェア要件を満たしてい
る必要があります。MCT は、使用するコースウェアまたはマイク
ロソフト IW ラーニング プロダクトに応じ、マイクロソフト コース
ウェアまたはマイクロソフト IW ラーニング プロダクトに添付の EULA の条件、または MCT ダウンロード センターの条件を遵守しなければな
りません。

MMI または MOS:I の資格を有する MCT は、IW ラーニング プロダク
トを使用したトレーニングを IW カスタマー先で実施することができま
す。ただし、正規カスタマー以外に対し、正規カスタマー先以外の場所で、マイクロソフト IW ラーニング プロダクトを使用したトレーニング
を実施することはできません。

**1**「**公開トレーニング**」とは、企業または IT アカデミーが一般の人々を
対象として教室またはオンラインで提供および実施する公開クラスを意味します。このようなクラスには、1 つまたは複数の組織からの
受講者や、企業や組織に属さない個人の受講者が参加するものが含まれます。

**2**「**非公開トレーニング**」とは、企業が事前に設定された学習目標に基づくトレーニングの実施契約を結んだ 1 つの組織の従業員または請負
業者を対象として実施する、インストラクターによる非公開のトレーニング クラスを意味します。

ラーニング ソリューション資格を有するマイクロソフト パートナーお
よび IT アカデミー メンバーだけが、コースウェアおよびマイクロソフ
ト IW ラーニング プロダクトを使用した公開トレーニングを実施でき
ます。ラーニング ソリューション資格を取得していないマイクロソフ
ト認定パートナーおよびマイクロソフト認定ゴールド パートナーは、
非公開トレーニングまたはマイクロソフト パートナーの従業員を対象
とする社内トレーニングでのみ、コースウェアおよびマイクロソフト IW ラーニング プロダクトを使用できます。ラーニング ソリューショ
ン パートナーは、コースウェアおよびマイクロソフト IW ラーニング プロダクトを使用した非公開トレーニングも実施できます。

指導分野が複数の
場合

MCT は、複数の指導分野に登録することができますが、登録する各指
導分野に必要とされるすべての資格を保有していなければなりません。マイクロソフト コースまたはマイクロソフト IW コースによっては、ト
レーニングの実施に際し MCT が複数の指導分野に登録していることが
必要となります (前記「マイクロソフト コースの実施制限」を参照して
ください)。

## セクション 4 : 2010 MCT プログラム要件

マイクロソフトでは、MCT をマイクロソフトのソフトウェア、テクノ
ロジ、およびラーニング プロダクトに精通しているプロフェッショ
ナルとして位置付けており、その地位の向上に努めています。MCT は、学習プロセスにおいて重要な役割を果たします。したがって、最高水準のトレーニングを IT の専門家や開発者に提供するために必要な
レベルの指導技術を、MCT が発揮することが重要です。このような理
由から、MCT プログラムの要件として、MCT がプログラム年度を通じ
て高い顧客満足度と最低レベルのトレーニング活動を維持することを求めています。

2010 プログラム年度は、それぞれ 3 か月単位のプログラムで構成され
ます。

第 1 四半期 : 2010 年 4 月 1 日～ 2010 年 6 月 30 日

第 2 四半期 : 2010 年 7 月 1 日～ 2010 年 9 月 30 日

第 3 四半期 : 2010 年 10 月 1 日～ 2010 年 12 月 31 日

第 4 四半期 : 2011 年 1 月 1 日～ 2011 年 3 月 31 日

資格要件を満たしていることの証明書の提出手続きを簡素化するた
めに、マイクロソフトは、MCT 認定資格の判定に際し Metrics that Matter (MTM) プログラムにより提出を受けた情報を使用します。MTM プログラムの詳細については、<http://www.knowledgeadvisors.com> (英語) を参照してください。

DSAT を 10% 以下に 維持すること

MCT には、四半期ごとに MTM プログラムから顧客満足度が通知され
ます。顧客満足度の「不満足」(Dissatisfied) (DSAT) (9 段階評価で 1 ～
4 点) は、10% 以下でなければなりません。連続する 2 四半期の DSAT がいずれも 10% を超えた場合は、MCT 認定資格が停止されます。

MTM レポートは、マイクロソフトに自動的に最新情報が通知され
ます。プログラム年度中、マイクロソフトは、レポートの整合性と完全性を保証するために、点検および監査を随時実施します。

MCT 認定資格を維持するには、MCT の資格取得後の最初の 1 年間に、
一定の会場 (ラーニング ソリューション パートナー先、IT アカデミ
ー内、マイクロソフト パートナーの顧客先) で、コースウェアを使用
したマイクロソフト コースまたはマイクロソフト IW ラーニング プロダクトを使用したマイクロソフト IW コースを最低 1 回は実施す
る必要があります。この要件を満たしているかどうかは、Metrics that Matter プログラムにより受理、記録される受講生評価により判
定されます。

マイクロソフト コースの実施に使用できる認定コースウェアを以下に
示します。インフォメーション ワーカー向けに開発されたマイクロソ
フト ラーニング プロダクト (マイクロソフト IW ラーニング プロダクト
など) は除いています。

* IT プロフェッショナルおよび開発者向けに開発されたオフィ
シャル マイクロソフト ラーニング プロダクト (教室およびオン
ラインでのマイクロソフト オフィシャル コース、マイクロソフ
ト オフィシャル ワークショップ、マイクロソフト オフィシャ
ル セミナー、およびマイクロソフト オフィシャル クリニック
を含む)
* マイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト
* オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトもしく
はマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトの
少なくとも半分、またはオフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトの 3 モジュール (いずれか少ない方) で構成されるカスタム コース (ただし、かかるコースはマイ
クロソフト認定ディストリビューターによりラーニング ソリューション パートナー向けにカスタマイズされたもの)
* マイクロソフト IT アカデミーまたはその他の認定教育機関
で実施される場合、IT プロフェッショナルおよび開発者向け
に開発されたマイクロソフト オフィシャル アカデミック カリキュラム (以下「**MOAC**」) またはマイクロソフト アカデミック ラーニング シリーズ (以下「**ALS**」) のコース

マイクロソフト IW コースの実施に使用できる認定コースウェアを以下
に示します。マイクロソフト IW ラーニング プロダクト以外のコース
ウェア (Microsoft Windows、Windows Vista、Microsoft Office XP、および Microsoft Office 2007 以外の製品向けに開発されたコースウェアなど) は除いています。

* オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクト (教室お
よびオンラインでのマイクロソフト オフィシャル コース、
マイクロソフト オフィシャル ワークショップ、マイクロソフト オフィシャル セミナー、マイクロソフト オフィシャル クリニ
ックを含む)
* オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトもしく
はマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトの
少なくとも半分、またはオフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトの 3 モジュール (いずれか少ない方) で構成されるカスタム コース (ただし、かかるコースはマイ
クロソフト認定ディストリビューターによりラーニング ソリューション パートナー向けにカスタマイズされたもの)
* マイクロソフト IT アカデミーまたはその他の認定教育
機関で実施されるマイクロソフト オフィシャル アカデミック カリキュラム (**MOAC**) またはマイクロソフト アカデミック ラーニング シリーズ (**ALS**) のコース

監査および確認

マイクロソフトは、MCT の上記要件の遵守状況を四半期ごとに調査し
ます。マイクロソフトは、MTM プログラムから提供されるデータを用
いて、MCT がプログラム要件を満たしているかどうかを判定します。
プログラム要件を満たしていない場合、資格認定が取り消されることがあります。

マイクロソフトは、毎年監査を実施し、MCT が MCT プログラム要件を
満たしていることを確認します。マイクロソフト コースまたはマイ
クロソフト IW コースの実施に関する記録を、ファイルとして保管し
ておいてください。これらの遵守状況の証明は、更新申込書に記入した項目と一致していなければなりません。監査に関して連絡を受けたときは、こうした要件を満たしていることの証明書を提出する義務があり
ます。

監査対象となる候補者は、無作為に抽出します。ただし、下記の条件の 1 つ以上を満たしている場合、監査対象に選ばれる可能性が高くなり
ます。

* 顧客満足度評価平均が全 MCT の上位 4 分の 1 に入っている
場合。
* 顧客満足度評価平均が、連続する 2 つのプログラム四半期の
間に著しく変動した場合。
* MTM 評価の (地域的な標準値から見て) 突出した数値が、
受講生ではなく、MCT 本人またはラーニング ソリューション パートナー管理者により入力された場合。
* MTM 評価の (地域的な標準値から見て) 突出した数値が匿名の
場合。

証明書が意図的に改変されたものであると監査者が判断した場合や、トレーナーが遵守状況に関する証拠を示すことができない場合、認定は取り消されます。遵守違反の程度により、永久に認定が取り消される場合もあります。MCT 資格認定要件をこのように厳格に適用する目的は、
MCT プログラムの要件を遵守している多くの MCT のために、MCT の認定資格の価値を保護することにあります。

MCT 認定資格の失効

MCT の認定資格は、本契約に記載された事由に加え、以下に該当する
場合にも取り消されることがあります。

* 受講者用のコース教材を本来の形態で使用せずに (たとえば、
受講者やトレーナーの教材をコピーして使用するなど) マイクロソフト コースまたはマイクロソフト IW コースを実施
する。
* 関連するマイクロソフト コースウェアを使用せずに、
マイクロソフト コースを実施する。
* 関連するマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを使用せずに、マイクロソフト ダイナミクス コースを実施する。
* 関連するマイクロソフト IW ラーニング プロダクトを使用せ
ずに、マイクロソフト IW コースを実施する。
* MCT プログラムの要件に関して虚偽の申告をする。
* MTM 評価を偽る。
* MCP またはマイクロソフト ダイナミクスの試験で不正行為を
するか、MCP またはマイクロソフト ダイナミクスの試験で他の
受験者の不正行為に助力する。この場合、MCP 認定資格を永久
に失うことになります。
* マイクロソフト オフィス スペシャリストまたは の試験で不正行為をするか、
マイクロソフト オフィス スペシャリストまたは の試験で他の受験者の不正行為に助力
する。この場合、MCP 認定資格を永久に失うことになります。
* MCT および MCLC の申請時に署名した条項および MCT 契約に反する方法で、MCT ロゴまたは MCLC ロゴを使用
する。
* マイクロソフト、ラーニング ソリューション パートナー、IT アカデミー、マイクロソフト認定パートナー、または IW カス
タマーを称する者として職業的、倫理的にふさわしくない。
* コースウェアまたはマイクロソフト IW ラーニング プロダクト (トレーナーの教材を含みます) を、かかるマテリアルに添付の
製品使用権説明書 (**EULA**) または MCT ダウンロード センタ
ーに掲載された EULA に反する方法で使用する。
* 資格認定を受けていない指導分野のマイクロソフト コースまた
はマイクロソフト IW コースを実施する。
* 本契約を遵守しない形でマイクロソフト コースまたはマイクロ
ソフト IW コースを実施するか、コースウェアまたは IW ラーニング プロダクトを使用する。または以下の行為を行う。
	+ ラーニング ソリューション パートナーまたは IT アカデミー以外の組織において、またはそのような組織のために、コースウェアまたは IW ラーニング プロダクトを使用した公開トレーニングを実施する (その組織での公開トレーニングの実施をマイクロソフトが書面で承認した場合を除く)。
	+ 正規カスタマー以外の組織を対象として、コースウェアまたはマイクロソフト IW ラーニング プロダクトを使用
	したトレーニングを実施する。

## セクション 5 : MCLC の認定を受ける方法

MCLC 資格を取得するためには、次の要件を満たす必要があります。

1. MCT 認定資格を取得します。
2. コンサルティング的なラーニング ソリューション スキルを証明するケース スタディを提出します。
3. ケース スタディで記述されている顧客による証明を提出します。

MCLC 認定資格の要件について不明な点がある場合は、
[マイクロソフト地域サービス センター](http://www.microsoft.com/learning/en/us/help/help-default.aspx) (<http://www.microsoft.com/learning/en/us/help/help-default.aspx>) (英語) にお問い合わせください。

ステップ 1 : マイクロソフト認定トレーナー認定資格の取得

MCLC 認定資格を取得するためには、既に MCT 認定資格を保有してい
る必要があります。認定資格の取得に必要な最低経験年数は定めていませんが、コンサルティング的なラーニング ソリューションの設計、
開発、および実施について経験がない場合、MCLC 申込書は受理さ
れません。

ステップ 2 : コンサルティング的なラーニング ソリューションのケース スタディの提出

コンサルティング的なラーニング ソリューションの設計、開発、
および実施について経験があることを示すために、必要な能力を発揮しながら自らが主要なコンサルティング的役割を果たした、過去
2 年以内に完了したプロジェクトについて説明するケース スタディ
を提出する必要があります。これらの能力の詳細については、MCLC 申込書のセクション H を参照してください。

ケース スタディの形式と要件の詳しい説明が記載されている MCLC 申込書は、MCT メンバー専用サイトからダウンロードできます。
この形式を使用していないケース スタディは、提出しても審査および
処理の対象となりません。

MCLC 申込書とケース スタディは、年間を通じていつでも受け付け
ています。

MCLC 認定の承認プロセスの一部として、MCLC 審査会による、
マイクロソフト認定ラーニング コンサルタント候補者のケース スタディの審査、評価、および承認があります。マイクロソフトは、
提出された MCLC 申込書または MCT 記録に記載されている、
個人を特定できる情報を審査会に提供しません (これらの情報がケース スタディに記載されている場合は除きます)。マイクロソフトまたはその下請業者は、申込書と証明 (以下「**証明**」) を審査します。ただし、
MCLC 審査会による MCLC 申込書の評価には、ケース スタディに提示
された情報しか使用されません。**ケース スタディには、個人を特定
できるような情報 (自分の氏名、顧客の会社名、またはこれを特定
できる情報、プロジェクト名、または顧客の担当者氏名など) を含めないでください。ケース スタディに個人を特定できる情報が
含まれている場合、MCLC 申込書は不適格とみなされます。**

ステップ 3 : 顧客に
よる証明の提出

ケース スタディの正確さを検証できるよう、ケース スタディの正確
さとそこで果たした自分の役割を示す証明を、ケース スタディ
に記載された顧客の代表者の署名を付して提出する必要があります。
証明のテンプレートは、MCT メンバー専用サイトからダウンロ
ードできます。このテンプレートを使用していない証明は、提出しても審査および処理の対象となりません。

顧客のレターヘッドに記載された証明は、ファックスで最寄りの[サポート センター](http://www.microsoft.com/learning/en/us/help/help-default.aspx) (<http://www.microsoft.com/learning/en/us/help/help-default.aspx>) (英語) に提出できます。

承認と通知

MCLC 申込書と証明の両方の受領が確認されると、MCLC 審査会が
ケース スタディを審査します (匿名性を確保するため、証明は審査会
に提出されません)。MCLC 審査会によるケース スタディの審査と評価
が完了すると、電子メールで次のいずれかの通知が届きます (登録さ
れた電子メール アドレス宛てに送信されます)。

* **認定通知**は、提出されたすべてのケース スタディの審査が完了
した後に、合格者全員に送付されます。マイクロソフトでは、これらの通知を MCLC 申込書の受領から 90 日以内に送付する
ことを目標としています。
* **不備の通知**は、申込書の予備審査で不完全な部分が見つかった場合、必要な関係書類がすべてそろっていない場合、または関係書類に矛盾する情報もしくは不完全な情報がある場合に、担当の RSC から各人にすぐに送付されます。電子メールによ
る通知には、申込書のどの部分に見直しが必要か、および申込書の再提出時に何を含める必要があるのかが記載されます。
この場合、RSC が追加情報を受け取るまで、申込書は MCLC 審査会に回付されません。
* **不備の通知**は、ケース スタディの 1 つまたは複数の必要能力
のセクションについて追加的な補強証拠が必要であると MCLC 審査会が考える場合、個別に送付されます。不備の通知には、MCLC 審査会がケース スタディに欠けていると考える能力が
記載された MCLC 申込書ステータス フォームが添付され
ます。この場合は、不備があるとして印が付けられたこのフォームの該当するセクションに必要事項を記入し、申込書と共に再提出する必要があります。

## セクション 6 : MCT および MCLC 認定資格の状態

MCT 認定資格の更新

MCT プログラムは、個人を対象とした年間プログラムです。現在 MCT でない個人は、プログラム年度中いつでもプログラムへの参加を開始できます。MCT 資格を有する個人は、更新期間 (2010 年 3 月 1 日から 2010 年 4 月 30 日) 中に MCT 認定資格を更新することができます。
その期間中に MCT 資格を更新しなかった場合でも、それ以降、プログ
ラム年度中であれば MCT プログラムに再登録できます。ただし、この
場合、証明書には認定資格の中断期間が明記されます。

MCLC 認定資格の
更新

MCLC 認定資格の更新は、MCT 認定資格の更新を申し込む際に併せて
申し込むことができます。MCLC 認定資格を維持するためには、次の要
件を満たす必要があります。

1. MCT 認定資格の更新時に MCLC の条項および条件を受諾し、毎年 MCLC プログラムへの参加を再表明する必要があります。

MCLC プログラムへの参加を再表明しなかった場合は、MCLC として
の認定資格が取り消されます。ただし、MCT 認定資格が有効に更新
されている場合、MCT 認定資格は維持されます。

強制的な資格停止

何らかの理由により資格を失った MCT (前記セクション 4 を参照) は、
資格停止後 1 年間は MCT プログラムに再登録できません。理由の重大
性如何によっては、永久に MCT プログラムへの再登録ができない場合
もあります。

## セクション 7 : マイクロソフト オフィシャル ディスタンス ラーニング (MODL) 実施許可の申請

MODL の経験は従来の教室でのトレーニングの経験とは異なるため、
MODL コースを実施するには MODL 実施許可プロセスを完了するこ
とをお勧めします。このプロセスには、4 つの Microsoft Live Meeting セッションへの参加またはセッション記録の視聴、および認定インストラクターが実施する MODL コースの閲覧が含まれます。

詳細については、MCT メンバー専用サイトの MODL ページ (<https://mcp.microsoft.com/mct/modl/authorization/Default.mspx>) (英語) を参照してください。

## セクション 8 : MCT および MCLC 認定資格の回復

毎年指定される更新期間中に MCT 認定資格を更新しない場合、認定資
格が取り消されます。つまり、MCT としての特典を受けられなく
なり、オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクトまたはマイ
クロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを使用したトレーニ
ングを提供するための認定資格を失います。ただし、いつでも資格の回復を申請できます。

MCT の認定資格を回復するには、MCT メンバー専用サイトからアクセ
スできる MCT 登録ツールを使用して、申請する必要があります。
回復後に、証明書には MCT 認定資格中断期間が記載されますが、MCT の認定資格の開始日は変更されません。MCLC であった場合は、MCLC の認定資格も回復されます。

## 付属文書 1 : 定義

本付属文書 1 または MCT および MCLC プログラム ガイドに定義されていな
い用語はすべて、マイクロソフト (または本契約に明示の別法人) と各 MCT および MCLC との間で締結されなければならないマイクロソフト認定ト
レーナーおよびマイクロソフト認定ラーニング コンサルタント契約書 (以下
「**MCT/MCLC 契約**」) において各用語に付与される意味を有するものとし
ます。

**正式認定教育機関**とは、アメリカ合衆国とカナダにおいては以下をいいます。

* 国または地域の認定機関 (一般に一定の地位を有するとされるも
の) により認定された高等教育機関。以下は、こうした認定機関
として認められています。
	+ - * Accrediting Commission of Career Schools and Colleges of Technology
			* Accrediting Council for Independent Colleges and Schools
			* Commission of the Council on Occupational Education
			* Accrediting Council for Continuing Education and Training
			* American Association of Educational Service Agencies
			* Bureau of Private Post-Secondary and Vocational Education
			* Middle States Association of Colleges and Schools
			* New England Association of Schools and Colleges
			* North Central Association of Colleges and Schools
			* Northwest Association of Schools and Colleges
			* Southern Association of Colleges and Schools
			* Western Association of Schools and Colleges
* 州が認定する中等教育機関。
* 軍事訓練機関。

American Association of Educational Services Agencies に所属する機関
もまた、正式認定教育機関としての条件を満たしています。カナダでは、各州政府から公立学校または私立職業専門学校の地位を付与されていることの証明書を提出しなければなりません。

アメリカ合衆国とカナダ以外については、各地域の認定機関の詳細について最寄りのサービス センターにお尋ねください。

**指導分野**とは、MCT が特定の能力に対応する Microsoft の資格を取得す
ることにより熟練していることを実証した職務またはテクノロジを明記した MCT の区分制度をいいます。

**Metrics that Matter (MTM)** とは、顧客満足度データの収集、集計、お
よび報告に関して、Knowledge AdvisorsTM がマイクロソフトと協力
して実施するプログラムをいいます。

**マイクロソフト正規カスタマー** (**認可を受けた教育実施機関**) には、
ラーニング ソリューションのマイクロソフト認定パートナー (ラー
ニング ソリューション パートナー)、マイクロソフト認定パートナー、
マイクロソフト IT アカデミー プログラム (IT アカデミー) に参加す
る機関、およびマイクロソフトの書面による認可を受けたその他の法人があります。

**ラーニング ソリューション パートナー**は、IT プロフェッショナル
を対象としたマイクロソフト コースの実施について認定を受けたト
レーニング実施企業です。これらの企業はマイクロソフト認定パートナーでもあり、オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダ
クト、マイクロソフト IW ラーニング プロダクト、またはマイクロ
ソフト ダイナミクス ラーニング プロダクト用の適切なハードウ
ェア、トレーナー、および指導環境を含め、ラーニング ソリュー
ション資格を取得するために必要な所定の条件を満たしています。

**マイクロソフト認定パートナー**とは独立した企業であり、さまざまな専門性やベンダー協力関係を有する企業が含まれています。ラーニング ソリューション資格を取得していないマイクロソフト
認定パートナーは、オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクト、マイクロソフト IW ラーニング プロダクト、およびマ
イクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを取得できま
すが、実施できるトレーニングは、より大規模なカスタマー ソリューションまたはその社内スタッフを対象としたトレーニングの一環としての、非公開のトレーニングに限られます。このようなマイクロソフト認定パートナーはラーニング ソリューション パートナーと同じ要件をすべて満たす必要はありませんが、オフィシャル マイクロソフト ラーニング プロダクト、マイクロソフト IW ラーニング プロダクト、またはマイクロソフト ダイナミクス ラーニング プロダクトを使用した公開トレーニングを、広告ま
たは実施することはできません。

**マイクロソフト IT アカデミー プログラム** (**IT アカデミー**) には、
在籍している学生を対象としたマイクロソフト コースおよびマイ
クロソフト IW コース (週 12 時間以内) の実施許可を受けた認定教育
機関が含まれます。

**プログラム年度**とは、2010 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日までの MCT 2010 プログラム年度を意味します。この期間内にすべての MCT プログラム要件を満たす必要があります。